

土砂災害防止に関する日中民間交流報告（草の根的活動 2 回目）

中国総合投資会社（北京）の招聘を受けて 2016 年 12 月 15 日（木）に講演に出向いてきました。

同社は香港で設立して三十億香港ドルの資本金を有する民間企業です。主な活動は、対外協力の支援と研究、政策の立案と研究、中国文化の発掘と研究、メディア文化及び文物・文献の修復、実業貿易などとし国内外企業や個人への活動支援を行っています。

この度、両国の更なる交流の促進を図るため、「日本の土砂災害防止啓発に関する技術と経験」を基調テーマとするシンポジウムが開催されました。

その中で、中国での土砂災害は毎年 20,000 件前後が発生し 1000 人前後が死亡しており経済損失も膨大なものとなっているとの情報を得ました。

中国は、日本の国土の 26 倍という膨大な面積に 13 億 7000 万人という人口を有している巨大国家でありそれが言えに国家運営は悩んでいる状況です。

昨今の地球規模での異常気象による自然災害の多発に鑑みると隣国の被害を見過ごすことは出来ず、互いの政治政策の不協和による外交関係とは別にし防災先進国である我が国の防災技術やノウハウは民間レベルとはいえども草の根的に提供していきたいと思えます。



「熱烈歡迎」の横断幕にはさすがにビックリポン！！でした（笑）



投資会社だけあって各分野の専門家が勢ぞろいしました